

## 腸管気腫症の臨床的特徴に関する検討

### 研究の概要：

腸管気腫症は、CT 検査などで偶然発見されることが多く、経過観察することで軽快することが多い病態ですが、中には外科手術が必要となるような緊急腹部疾患に伴って生じることもあり、治療方針の決定に苦慮することも多い病態です。多数の患者さんの状態・経過を検討させていただき、門脈気腫症の臨床的特徴を明らかにすることが重要と考えられます。

今回の研究では、当院の CT 検査で腸管気腫症を指摘された患者さんの臨床経過を評価・検討することを目的としています。

### 研究対象：

2009 年 4 月から 2019 年 10 月までに、相澤病院にて CT 検査で腸管気腫症を指摘された患者さんを対象とします。

### 研究の意義：

腸管気腫症の臨床的特徴を明らかにすることで、治療方針の決定などにおいて、実際の診療に役立つと考えられます。

### 研究の目的：

本研究は、CT 検査にて腸管気腫症を指摘された患者さんを対象として、腸管気腫症の臨床的特徴について検討することを目的としています。

### 研究の方法および内容：

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報(患者背景、臨床経過、手術所見、術後経過)を収集し、統計学的な解析を行います。情報収集の作業に当たっては医師がこれを行います。

### 個人情報に関する配慮：

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究代表者（本研究全体の責任者）：

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 外科センター 西田保則

TEL 0263-33-8600 / FAX 0263-32-6763